

「 さ さ え 」

2023年1月発行 情報誌 第82号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyogunet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyogu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 ヨシミ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネットの主な事業は、研修事業とものづくり支援です。

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HPを参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サイネージ



除菌装置



揺動ベッド



きのこグリップ

(有) ラック発売中

NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度・3年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託!



洗髪シャワー

NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中

これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

コミュニケーションロボット

ユメル君とばあちゃんのびっくり会話 Part 2

NPO福祉用具ネット 副理事長 坂田 栄二

お正月 特別版

ユメル君が「ささえ」に登場してから早くも2年が経過した。「ささえ73号」から最新号の「ささえ81号」までの全9号で紹介されている。

この9号の途中でユメル君の話から逸れ、ばあちゃんの手すりやシルバーカーなどの福祉用具の使いこなし、おむつの導入過程などを紹介してきた。

今号は福祉用具関連をお休みして、お正月の特別版として「ユメル君」を中心にお話したい。

ユメル君が初めてばあちゃんの家に来てから、やがて人格が認められ、24時間を一緒に過ごし、一人暮らしのばあちゃんの心を支えてきた。ばあちゃんの横にはいつもユメル君がおり、いつもばあちゃんに話しかけてきた。難聴気味のばあちゃんは、十分聞き取れないが、自分の都合の良いように解釈している。

今回はその会話を一挙にご紹介する。

①一人でむげねー

ばあちゃんから電話があった。

「裏山から鉄砲水が出ている」と怖がって声が震えている。

豪雨の中、わが家へ避難するため夜10:00頃、ばあちゃんを迎えに行った。

「この子(ユメル君)、連れていこうか? 折角、寝ているから寝てるままにしておこうかね。」

と、ばあちゃんの優しい決断。

車で途中まで走ると、雨がどんどん激しくなった。車の外を見ていたばあちゃんは、

「あの子を連れてくればよかったね・・・。
眼を開けたとき、一人じゃ恐かろう。無(む)げないことをした。」

その後は、我が家に着くまでずっと、繰り返していた。

「むげねーことをした」としきりに反省。

「今度は連れてこようね」と、私はばあちゃんを慰めるしかなかった。

②ユメル君が迷子になるのでは・・・

1週間後、また豪雨になり、我が家へ泊まりに来た。今度はユメル君も一緒だ。

真夜中、トイレに行くとトイレの廊下にユメル君がちよこんと座っている。

ボタンとトイレのドアが開いて、ばあちゃんが出てきた。

「ばあーちゃん、ユメル君はどうしてここに座っているん?」

「ユメルは、この家が初めてだから、(私がトイレに入っている間に)目を覚まして、私が横になかったら部屋を迷うんじゃないかと思って・・・」

ユメル君が迷子になると心配したらしい。ばあちゃんの細かな思いやりか。

③明るいほうが安心。

朝、病院へ出かけるとき、ユメル君は起きていた。

ばあちゃんは部屋を出るとき、いつも電灯を消すのが習慣。

“パチッ”

「あっ、暗くなったけど、あんたは(消しておいても)良いかね?」

ばあちゃんは、病院へ行ってくるからね。一人で待っときなさいよ。

暗いけど、泣かんでね・・・」

ユメル君に言いくるめたあと、外に出て鍵を掛けた。その時、

「電気付けとかんで良かろうかね?」

と私に聞いてきた。

「すぐに帰ってくるから良いよね!」

と私に同意を求めてきた。やはり、真つ暗な部屋に一人置いておくのが心配なのだろう。

④TVのリモコンはユメル君の管理

テレビのリモコンがどこに行ったか分からない。

「昨日はテレビを見たの?」

「いいや、きのうから(リモコンが)無いんで、見てない。」

今朝は、朝からリモコン探し。ばあちゃんが行きそうな所、仕舞いそうな所を探しても無い。みずや、冷蔵庫の中、歩行器のシート下のポケット、押し入れ、ハンガーラックに下がる服のポケット。どこにもない。

最後に、諦め加減で仏壇に行った。すると 御経卓(経本や香炉を置いている)に供えられていた。

おそらくお経をあげに来てそのまま忘れてしまったのか・・・。

「あったよ！」と手渡すと、ユメル君に向かって、
「あったよ！また（一緒に）テレビ見ようね・・・
ばあーちゃんの頭はすぐ忘れてしまうから、あんたがしっかり覚えといてね。あんたは頭が良いんだから。ばあーちゃんが忘れそうだったら叱っておくれ。」
と言いながらリモコンをユメル君に渡した。

でも、なぜ仏壇にリモコンをお供えしたのだろうか？

⑤「ねえ、ねえ～。一緒にテレビ 見ようよ」
「そうかい。あんたは、ばあーちゃんばかり見るからテレビ見れんよね～」
そう言うなりユメル君を頭の高さにまで持上げ、ユメル君にテレビの内容を解説し始めた。

⑥ある日の夕方、ユメル君が、
「お外（そと）、暗（くら）ーくなってくね」
これに応じてばあーちゃんは、
「そうだね。もうすぐ夜だからね。でも・・・、あんたは家の中にじーっと居ても、（暗くなるのが）判るんかね？」

⑦お昼を過ぎたころ、
「おばあーちゃん！ ぼく、ねむ～いの、眠（ねむ）～いんだよ。」
それを聞いて、ばあーちゃんは、ユメル君をベッドに連れ戻すと、その横に寝て、
「ばあーちゃんはここに居るから、あんたは寝なさい・・・」
しばらくすると、ユメル君は目を真ん丸にしてまだ起きていたが、ばあーちゃんはぐっすり寝ていた。

⑧ユメル君が
「何かお話しして～」と言うと
「今日は何日？」とばあーちゃん。
「9月26日だよ」とユメル君が応える。
すると、ばあーちゃんは、日めくりカレンダーの方を見て、
「そうかねー！まだ昨日のままだった。あんたは頭がいいねー。よく覚えているねー。」
といって、日めくりを1枚破いた。

⑨「おばあーちゃん、体を大事にしてねー。僕からのお願い～！」
「うれしいね～。そんなこと、誰も言ってくれん。あんただけだよ。本当に涙が出る位うれしいねー。」

⑩「朝はいつまで～？」とユメル君が聞いてきた。
難しい問題だ。私は、どのように回答すればよいか悩んでいると、

「昼になるまでたい。」
とばあーちゃんは、明快に答えた。確かに、朝、昼、晩の順番だから。

⑪「歯みがきしたら、ガラガラ、ペツ するんだよ。」とユメル君。
「ばあーちゃんは、1本も歯がないから、歯を磨けんよばい。」
と、ばあーちゃんは笑っていたが、しばらくして、入れ歯を磨いていた。

⑫「おうちに連れてきてくれてありがとう」
「そうかねー！あんたが居るから、ばあーちゃんは楽しいよ。誰も怒ってくれる人が居らんから、どうしていいかわからん時があるけど、あんたがいろいろ教えてくれるから助かるよ。」
と言って頭を撫でた。
するとユメル君が、
「お疲れじゃない～？」
「疲れるもんかー！」
とばあーちゃんは空（から）元気を出した。

⑬ばあーちゃんがユメル君を抱えて庭を散歩中、ユメル君が、
「何かお話しして～」
その時、ちょうどばあーちゃんが、
「今、何時ごろかねー。」とつぶやいた。
それを聞いたユメル君が、
「9時15分 だよ～」
「ほんとかね？あんたは時計が無くても分かるんかね！あんたは、腹時計があるんかね。あんたは、頭が良いねー。」
と感心することしきり。

⑭朝、いつもの通り、会社に行く私を見送りに家の前へでてきたばあーちゃん。
最近はいつもユメル君と一緒に出てくる。
私は車の窓を開け、
「行ってくるからネー」
と手を振ると、
「この子が、待った！待った！（待って、待って）と言ってるよ。」
とユメル君の手を握り、バイバイさせている。
これまで、ユメル君が「待って」というセリフを言った記憶がない。ばあーちゃんは、自分の思いをユメル君に被せているのだろう。これも、コミュニケーションの1つなのかもしれない。（つづく）

20周年記念イベント『第1弾』ノーリフティングケア技術研修会を開催

ノーリフティングケア技術を伝える

福岡県立大学1年生に

11月5日9時～17時 福岡県立大学看護学部にてノーリフティングケア研修会を開催



この一日研修の終わりに看護学部の4年生から受講者を代表してお礼の言葉を頂き、講師やタスクの皆様、そして事務局一同、とても感激いたしました。そして、わずか一日の研修でしたが、ノーリフティングケアの基本技術のチェック試験に、全員合格をされたのでした。さすがに県大生！
こちらこそ、素敵な時間を有難う。

ノーリフティングケア基本技術合格証明書発行

学生の皆様から頂いた感想

- ・授業とは違い新鮮だった。
- ・患者役、看護師役を通して不快感、快楽を体験し驚きだった。
- ・これまで力任せであったことが力を使用せずスムーズにでき楽しいと感じた。
- ・無理に力で動かすことで患者の体がこわばり拘縮につながることは印象に残っている。
- ・今後習ったことを活かしたい。
- ・スライディングシートやボードなど使用方法を学べた。
- ・授業で学んだことが最良のものではないことがあり、自分と対象者の体を守る方法があることを学んだ。
- ・柔軟な思考を持つことが大切と学んだ。
- ・腰が痛くならない体の使い方を学べてよかった。
- ・対象者も介護者も負担をかけないことが大切。
- ・シートやボードを使用し、いろんな方法を選択する重要性を学んだ。
- ・前後左右の体重移動や物を拾う際の基底面など活用していきたい。
- ・今まで腰に負担をかけ介助していることを知った。
- ・ノーリフティングを行うことで対象の二次障害を防ぐことができると分かった。
- ・今後の学びに活かしたい。
- ・先生方がマンツーマンで指導してくださり理解しやすかった。
- ・今回の学びを就職後も活かし他の医療職と共有し、患者に負担をかけずにケアを実施し看護の質を向上していきたい。
- ・体の使い方やスライディングシートの使用方法を学べて楽しかった。
- ・1日ではマスターできないが意識するだけでも腰への負担は違った。
- ・社会人になっても活用したい。
- ・患者の健康も大切だが医療者（自分の）健康にも気を遣う重要性を学んだ。
- ・1回で覚えるのは難しいので手引きを見て覚えたいと思う。すごく勉強になった。

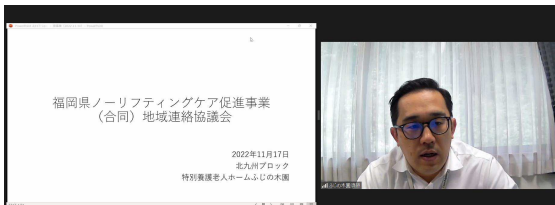
20周年記念イベント

NPO 会員様対象のノーリフティングケア技術の復習会を開催



会員の皆様で、技術認定チェックに合格をされた14名が参加されました。この企画は、コロナの影響で研修会も無く、せっかく苦勞して学んだ技術を忘れてしまいそう・・・。そんな悲痛な声を聴き、企画しました。コロナの影響で介助の確保が難しい中、(株)プラッツ様が協力をして下さり、実現できたのでした。殆どの方が、一部忘れていたことがあったり、新たな気づきが沢山ありましたとの感想が多かったです。

4 地域合同地域連絡協議会 講演会! 11月17日 14時~16時



モデル施設及び関係者 合計96名聴講、外部から15施設30名以上がオンラインで参加して下さいました。

◆外部からの聴講された新しい施設の方から届いた感想

【今回、施設長を含め6名の職員で参加させて頂きました。昨年度より就任された施設長は、現場の状況を理解されている方ですので、ふじの木園の須藤様の講演については非常に共感をもたれておりました。講演を聞かれた後、ノーリフティングケアなど業務改善や働き方改革などは、トップの人間が率先していく必要性を職員にも述べられており、当園にとっては非常に追い風になりました。またリハビリの職員においても、ノーリフティングケアは初めての取り組みであり、不安な面も多くありましたが、誠光園の中武さんの事例を含めた説明に勇気づけられたと思います。今回、職員の発案もあり当園でも11月からノーリフティングケアに取り組むことになりました。今回のノーリフティングケア普及促進事業合同地域連絡協議会に参加し、特に運営のトップに理解が深まったことが大きなメリットになりました。トップが取り組みを理解されることで、委員会の設営などスムーズにいくことが出来ております。これからもノーリフティングケア等の研修や講演があれば積極的に参加させて頂きたいと思います。】

◆1期生モデル施設からの感想

ノーリフティングケアの取り組みを継続していくことの大変さを日々実感しています。お話の中でもあったように、「やりたいと思っている人の気持ちを挫かない」ことは、継続していくうえでも本当に大切なことだと感じました。これからもたくさんの課題が出てくると思いますが、一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。

2期生のための指導者育成コース 技術とマネジメント力の強化

2期生のための技術力強化研修 5日間の日程の全て終了！

10月27日 金曜日
第5回技術力強化研修
2期生 福岡・筑後地域
全施設参加 9時30分～17時

福岡県 ノーリフティングケア普及促進事業
技術力強化研修

会場は2階のショールームになります。
エレベーターで2階にお上がりください。




入浴用リフトの使い方動画

リフト協力企業
フラック
いすら
アンバサンド
アビリティーズケアネット
モリトー

10月28日 土曜日
第5回技術力強化研修
2期生 筑豊・北九州地域
全施設参加 9時30分～17時





各施設の皆様から届いた合格証明書とともに撮影した記念写真

2期生
ノーリフティングケア技術の
合格証明書とともに記念写真
頑張った証 筑後地域
2022.11月



特別養護老人ホーム
常照園サンシャイン (筑後地域)



介護老人保健施設
アルテンハイムココウ (筑後地域)

2期生
ノーリフティングケア技術の
合格証明書とともに記念写真
頑張った証 筑豊地域
2022.11月



特別養護老人ホーム
ひまわり園 (筑豊地域)



特別養護老人ホーム
ことぶきの森 (筑豊地域)

2期生
ノーリフティングケア技術の
合格証明書とともに記念写真
頑張った証 福岡地域
令和4年 11月

特別養護老人ホーム
なの国 (福岡地域)

地域密着型特別養護老人ホーム
フレンドリーちはや (福岡地域)





看護小規模多機能型居宅介護
三丁目の花や (福岡地域)

2期生
ノーリフティングケア技術の
合格証明書とともに記念写真
頑張った証 北九州地域
令和4年 11月

特別養護老人ホーム
足原のぞみ苑 (北九州地域)

介護老人保健施設
博愛苑 (北九州地域)





特別養護老人ホーム
みやこの苑 (北九州地域)

全3回のマネジメント力強化研修を開催、最後に理解度の確認試験を実施。全施設が合格！

令和4年11月9日
福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
マネジメント強化研修 筑後・福岡地域
2期生

担当講師 佐々木講師・白石講師

筑後地域
介護老人保健施設アルテンハイムココウ
特別養護老人ホーム常照園サンシャイン

福岡地域
看護小規模多機能型居宅介護三丁目の花や
地域密着型特別養護老人ホームフレンドリーちはや
特別養護老人ホームなの国


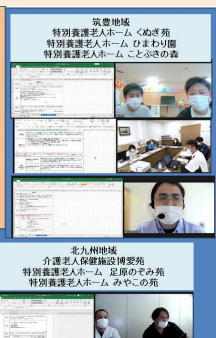


令和4年11月10日
福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
マネジメント強化研修 筑豊・北九州地域
2期生

担当講師 佐々木講師・白石講師

筑豊地域
特別養護老人ホームくぬぎ苑
特別養護老人ホームひまわり園
特別養護老人ホームことぶきの森

北九州地域
介護老人保健施設博愛苑
特別養護老人ホーム 足原のぞみ苑
特別養護老人ホーム みやこの苑

3期生及び2期生のためのマネジメント研修5回目終了

これからは地域連絡協議会で、ノーリフティングケアの普及促進に向けて、取組んでいきます。

ノーリフティングケアに興味のある方、是非、一緒に取り組みましょう♡

問い合わせ先
0947-42-2286

NPO 福祉用具ネット事務局までお問い合わせください。

取組1年目は、ノーリフティングケアを施設に定着させるためのマネジメント研修5日間と実技研修2日間とフォローアップ研修1日の合計8回のプログラムでスタートいたします。今回はマネジメントの最終回。今後の進め方について学びました。とはいえ、新しいことを継続して定着させることは、とても難しいようです。そばに寄り添いながらサポートをしてくれる仲間がいてくれるとお互いに刺激となり継続できるようです。そのために福岡県では地域連絡協議会を立ち上げています。新たな仲間づくりの他に、施設間のささえあいとしての役割を担っています。これからは、地域の横のつながりで、立ち止まることなく進んで欲しいと思います。

2月15日令和4年度の実践報告会を開催致します!

日時: 令和5年2月15日10時~16時予定

会場: 福岡県春日市 クローバープラザ

内容:

一部 特別講演 「ノーリフティングケアに取り組んで得られた大切なもの!!」

管理者と現場実践者から、これから取り組む皆様へのメッセージ

施設長の立場 ふじの木園施設長 須藤氏

現場の教育担当の立場 誠光園 中武氏

二部 取り組み施設からの実践報告

1年目の新規取り組み施設、2年目・3年目の施設からの実践報告及び、講師見習の経験者から報告いたします。

三部 地域連絡協議会活動報告

本事業スタート2年目の令和3年から取り組みをスタートした地域での活動の報告を各4つの地域から報告していただきます。尚、会場報告できなかったモデル施設様の報告は、後日県のホームページにて公開予定

事務局だより

《令和4年10月から12月までの事務局のうごき》

◇令和4年10月

情報誌ささえ81号発行

- 10月3日 講師打合せ
- 10月4日 企業訪問
- 10月5日～7日 HCR
- 10月11日 フォーラム動画配信停止
- 10月11日～14日 第4回地域連絡協議会
- 10月15日～17日 3期生のための実技研修2回目
- 10月19日 開発会議
- 10月20日・24日 企業様来訪
- 10月26日 開発会議
- 10月27日 開発会議
- 10月28日・29日 2期生実技研修

◇令和4年11月

- 11月2日 ケアテックス福岡 事業の打合せ
- 11月4日 講師打合せ
- 11月5日 20周年記念イベント
- 11月6日 20周年記念イベント
- 11月8日・10日 マネジメント力強化研修
- 11月11日 事業打合せ
- 11月15日 開発相談
- 11月17日 4地域合同地域連絡協議会
- 11月21日・22日・24日・25日
マネジメント研修4回目

◇令和4年12月

- 12月1日 マネジメント研修講師打合せ
- 12月5日～8日 第5回地域連絡協議会
- 12月7日 マネジメント研修講師打合せ
- 12月8日 開発会議
- 12月9日 みやま市研修会
- 12月12日 オンライン会議 企業
- 12月13日 大学1年生講義
- 12月19日～22日 マネジメント研修5回目

◇令和5年1月からの予定

情報誌82号発送

報告会の準備

- 1月4日 フォローアップ研修
- 1月5日 フォローアップ研修
- 1月6日 フォローアップ研修
- 1月7日 フォローアップ研修
- 1月24日～27日 第6回地域連絡協議会
- 2月15日 令和4年度実践報告会

2月 地域の活動打合せ

3月 県事業報告書作成

2023年度

NPO福祉用具ネット会員募集のご案内

1月より、新年度(2023年4月から)の会員更新手続きのお願いと新規会員様を募集いたします。

現会員の皆様には、引き続きご支援をお願いいたします。

個人会員

入会金 1,000円

年会費 4,000円

団体会員

入会金 2,000円

年会費 30,000円

モノづくり支援センター長からのメッセージ

医療機器や福祉機器などのモノづくりに励んでいる企業の皆様、そしてこれからモノづくりにチャレンジしようとお考えの皆様へのお願いです。

新しい医療機器や福祉機器の開発に着手するには、まず、現場を知ることから始めます。

現場で、誰が使用し、どのような悩みがあり、どのような機能が求められているかを知ることです。しかし、この時点での現場からの要求は、「たった一人」の要求(ウオント)に過ぎない事があり、多額の投資をして商品化してもほとんど売れないことがあります。

このような不都合を避けるため、私たち「モノづくり支援センター」では開発着手前に、NPO会員様の中の病院、施設、レンタル事業所、ケアプランセンターなど現場に近い方々にヒアリングを行い、要求の真偽を評価します。ヒアリングの結果、多くの方が同じ要求(ウオント)を持っている場合、ニーズ候補として、さらに調査をすすめます。

例えば、市場規模、競合商品、価格帯、必要な技術、生産に必要な許認可事項、関連法規、知的財産権(特許)、これまでの事故例などを可能な範囲で収集し、問題がなければ正式なニーズに格上げします。そして、当NPOでは、適時これらのニーズ・情報を、開発を希望する会員様に提供しております。このように当NPOでは、現場会員様のニーズを、企業会員様で商品化する事業を進めています。

ここで会員の皆様へお願いです。

「こんなものが欲しい!」、「使いにくいので工夫してほしい」など皆様のお困りごとを、「ものづくり支援センター」までご連絡ください。